取扱説明書

DVD一体型LEDプロジェクター ホームシアターセット

エヌ・アール・ティ　　エス

商品型番：**NRT-350S**

お買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前に必ずこの説明書をお読みください。

この説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。
この説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

スクリーン用フックはスクリーン箱の中に収納されています。

株式会社クマザキエイム

安全上のご注意

電気製品は、正しく取り扱うことで安全にお使いいただけます。
ご使用前に次の注意事項をよくお読みになり、必ずお守りください。

注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を示すために、「警告」と「注意」に区分しています。

警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

【記号の意味】

△ の記号は「注意(警告を含む)をうながす事項」を示します。

⊘ の記号は「してはいけない行為(禁止事項)」を示します。

● の記号は「しなければならない行為」を示します。

警告

●100V以外禁止
交流100V以外の電圧では使用しないでください。
自動車、船舶などの直流電源には接続しないでください。火災・故障の原因になります。

●電源コードをコンセントから抜く
雷が近づいたら、電源プラグをコンセントを抜いてください。

●電源コードを傷つけない
破損し、火災・感電の原因になります。

●分解禁止
この機器を開けたり、改造しないでください。
火災・故障の原因になります。

●禁止
DVDプレーヤーのピックアップレンズをのぞき込まないでください。レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

●水ぬれ禁止
近くに水の入った花瓶などを置かないようにし、水がかかるような場所では使わないでください。
水などが中に入った場合、火災・感電の原因になります。

●禁止
内部に小さな金属類(ヘアピンなど)や燃えやすいものをいれないでください。
火災・感電の原因となります。

●ぬれ手禁止
ぬれた手で電源コードの抜き差しをしないでください。
感電する恐れがあります。

●本体の通風孔をふさがない
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災・故障の原因となる場合があります。

●点検・修理
万一、本体を落としたり、キャビネットを破損した場合は、点検修理を依頼してください(有料)。
そのまま使用すると火災等の原因となります。

●乾電池は同一の新品を使用
仕様の異なる電池や使用した電池を混ぜて使用すると、液漏れにより汚損や故障の原因になります。

注意

●ぐらついた台や傾いた所に置かない
落下し、ケガ・故障の原因になります。

●温度の異常に高い場所で使用しない
通風孔をふさぐと内部温度が上昇し、火災・故障の原因になることがあります。

●調理台や加湿器の付近など湿気やほこりの多い所や油煙や湯気が当たるような場所に置かない
火災・感電・故障の原因になることがあります。

●駐車中の自動車内など、高温になる場所で保管しない
樹脂部品の変形の原因になります。

●電源コードをコンセントから抜く
長期間ご使用にならない場合、安全と節電のため必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

●電池を取り出す
長期間ご使用にならない場合は、電池をリモコンから取り出しておいてください。
万一の液漏れによる故障を防ぎます。

●電源を切る前には音量を下げる
再度電源を入れたときに突然大きな音が出て、聴力障害などの原因になります。

●スクリーン面に手を触れない
文字なども書かないでください。消すことができません。

ご使用の前に

本機の概要
●本機は以下のディスクおよび音楽ソースに対応しています。
但し、記録方式によって再生できない場合もあります。
・DVD, DVD-R, DVD-RW
・CD,VCD, CD-R, CD-RW
・MP3,WMA
・AVI
・JPG

本機で再生できるディスクの種類
●本機は以下のディスクを再生できます。

※ビデオモードで記録したDVD-RW、DVD-Rは再生可能です。
(ピックアップの状態、ご使用のディスクとプレーヤーとの相性によって、再生できない場合があります。またビデオレコーディングフォーマットで記録したディスクは再生できません)。
※CD−R・CD−RW・DVD-R・DVD-RWに記録されたディスクの再生は、ディスクの品質、記録状態、録音環境により再生できない場合があります。
※CPRMには対応しておりません。
※コピーガード付きのディスクは、再生できない場合があります。

●DVDビデオのリージョン番号について(地域番号)
・発売地域ごとにDVDビデオのソフトと再生機器に割り当てられた番号をリージョン番号と呼びます。(本機のリージョン番号は「2」です。)
・本機は「2」、「ALL」、「2」を含むものが表示されたDVDビデオを再生できます。

●本機で再生できないディスク
・本機ではDVD-ROM、DVD-RAM、DVD-Audio、CPRMを記録したディスクは再生できません。

●コピーコントロールCD
・本機では音楽CD規格に準拠して設計されています。CD規格外ディスクの動作保証および性能保証はできません。

●JPEGの再生
・JPEGとは、写真やイラストなどの画像ファイルを保存する形式の一つです。本機ではCD-R、CD-RW記録されているJPEGファイルを再生することができます。
(記録方式によって再生できない場合があります。)
・JPEGファイルには“.jpg”“.JPGの拡張子がつきます。

●MP3の再生
・MP3とは、MPEG1オーディオレイヤー３という形式で圧縮した音楽データです。
・可変ビットレートには対応していません。
・“mp3”または“MP3”の拡張子がついていないファイルは再生できません。

●AVIの再生
本機は以下のAVIフォーマットに対応しています。
・(DivX 5.xx + MP3), AVI
・(Divx 6.xx + MP3), AVI
・(Xvid + MP3), AVI
また、特殊なビットレートおよびサンプリングに対しては再生できない可能性があります。

DVD／CDに表示されているマークについて
●本機のDVDプレーヤーはDVDフォーマットに準拠したマクロビジョン方式のコピーガードに対応しています。

マークは、DVDビデオディスクの統一マークです。
DVDは商標です。

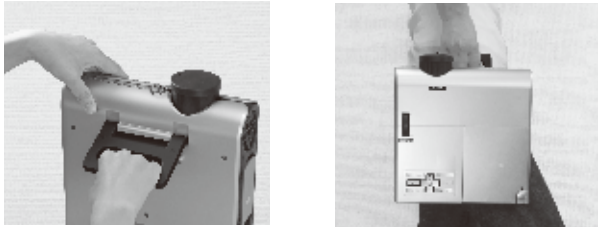
マークは、音楽用CDの統一マークです。
ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。

●アングル
複数台のカメラで撮影したソフトを再生する時にアングルを変えて見ることができます。
中の数字はアングル数を表しています。

●ディスクに関する用語について
一般にDVDビデオディスクは、「タイトル」という大きい区切りと、「チャプター」という小さい区切りに分かれています。
ビデオCD/音楽用CDは「トラック」で区切られています。

【タイトル】
DVDビデオディスクの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったものです。
【チャプター】
タイトルの内容を、場面や曲ごとにさらに小さく区切ったものです。
【トラック】
ビデオCD/音楽用CDの内容を曲ごとに区切ったものです。
それぞれのタイトルやチャプター、トラックには順番に番号がふられています。これらの番号を「タイトル番号」「チャプター番号」「トラック番号」といいます。ディスクによっては各々の番号が記録されていないものもあります。

ご使用上のご注意

ご使用上のご注意
●本機
・本誌指定の使用温度範囲を守ってご使用ください。
・振動や衝撃が伝わる場所には設置しないでください。
・テレビやラジオなど磁気を発生するものの近くには設置しないでください。
・以下の状態で投写しないでください。故障や事故の原因となります。
　※立てて投写しない。
　※上向きに投写しない。
　※下に向けて投写しない。
　※左右に向けて投写しない。
・再生中は本機を動かさないでください。
・投写レンズを素手で触らないでください。
　レンズ面に指紋や皮脂が付くときれいに投写できません。
　本機を使用しないときはレンズカバーを閉めてください。
・本機を持ち運ぶ際は下記の点にご注意ください。
　※レンズカバーを閉めてください。
　※ディスク、SD/MMCカードを取り出してください。
　※下図のようにハンドルを持って本機を移動してください。

●ディスク
・ディスクについた指紋やほこりなどのよごれは、画像のみだれや音質低下の原因となります。柔らかい布で、放射状に軽く拭き取り、いつもきれいにしておいてください。
・シンナーやベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。ディスクを痛める原因となります。
・再生面はもちろん、ラベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。
・ひびやそりのあるディスクは絶対に使用しないでください。

・ディスクに下記のマークの入ったものをご使用ください。

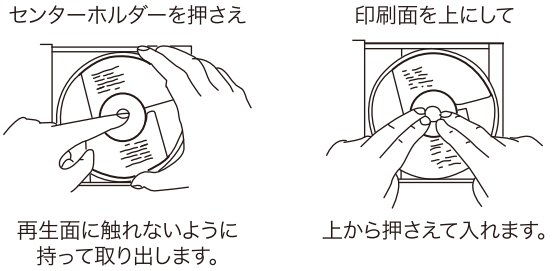
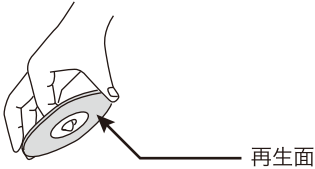
・ハート形や八角形などの特殊形状のディスクは使用しないでください。故障の原因となります。

・再生中、ディスクはプレーヤー内で高速で回転しています。ひび割れや変形したディスク、またはテープや接着剤で補修したディスクなどは危険ですから絶対に使用しないでください。

結露について
本機を冷え切った状態のまま暖かい室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりしますと、動作部に露が生じ（結露）、本機の性能を発揮できなくなることがあります。このような場合は、1時間ほど放置するか、徐々に室温を上げてから使用してください。

ディスク取扱い上のご注意
●ケースからの出し入れかた

センターホルダーを押さえ
再生面に触れないように持って取り出します。

印刷面を上にして
上から押さえて入れます。

●ディスクの取扱いかた
再生面には手をふれないでください。

●ディスクの保管のしかた
・直射日光の当たる場所や、温度の高い場所、湿気やほこりの多い場所には保管しないでください。
・ディスクは必ずケースに入れて保管してください。
●本機を持ち運びするとき
・ディスクを必ず取り出してください。
・本機に入れたまま持ち運びすると、ディスクに傷をつけたり、故障の原因になります。

輸送時のご注意
・本機内部にはガラス部品や精密部品を数多く使用しています。輸送の際には、衝撃による故障防止のため、お買上いただいたときの梱包箱と緩衝材を利用してください。
　梱包箱がない場合は、本機に衝撃が伝われないように本機の周囲を緩衝材などで保護し、堅固な段ボール箱に入れて精密機器と指定の上輸送してください。
・レンズカバーを閉じた状態で梱包してください。
・輸送は、精密機器であることを告げ、依頼してください。
※お客様が、輸送の際に発生した故障に関する保証はいっさいできかねますので、ご了承ください。

もくじ

下記の付属品が含まれているかご確認ください。

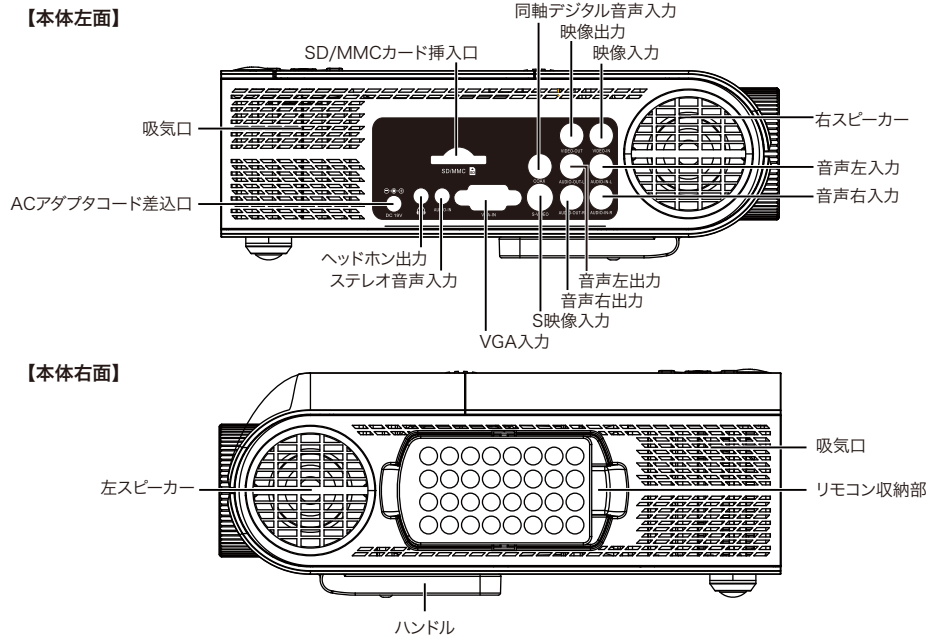
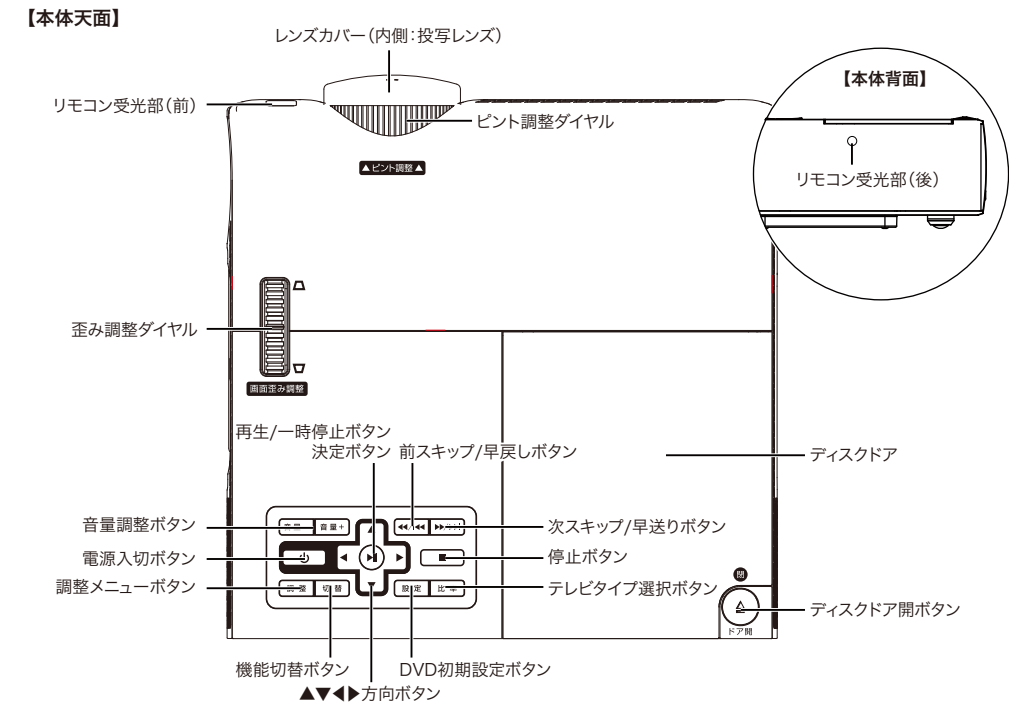
●プロジェクター
●リモートコントローラー（電池含む）
●ACアダプタ　※本製品以外にはご使用にならないでください。
●電源コード
●AVケーブル
●スクリーン
●スクリーン壁掛用フック×2
●取扱説明書（本誌）

各部の名称 —本体部—

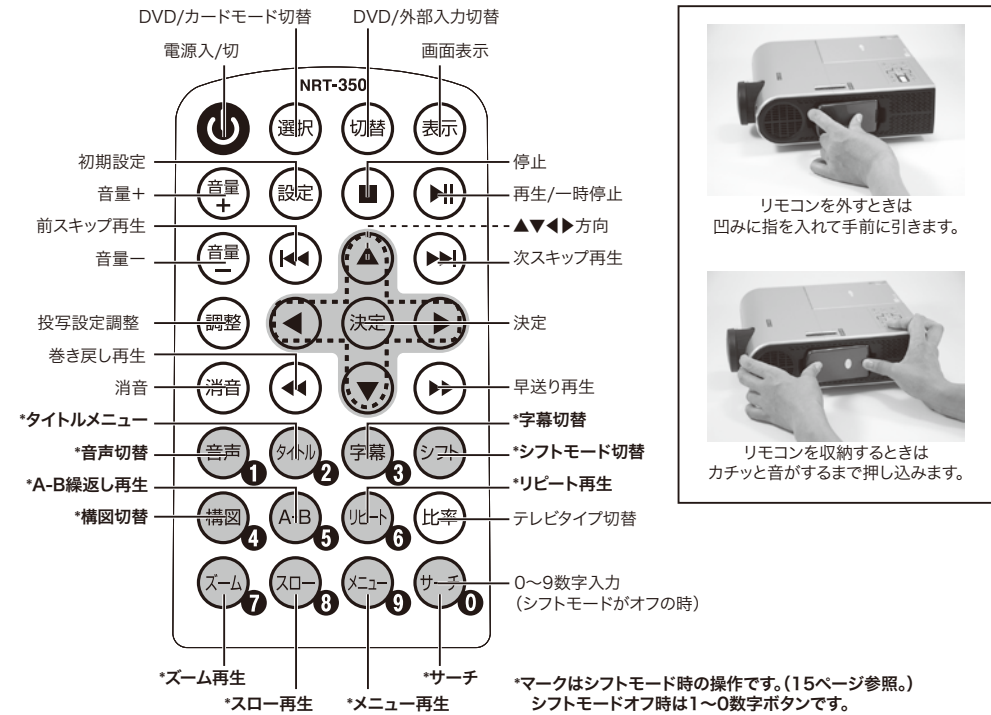
【本体天面】

レンズカバー(内側:投写レンズ)
リモコン受光部(前)
ピント調整ダイヤル
▲ピント調整▲
【本体背面】
リモコン受光部(後)
歪み調整ダイヤル
画面歪み調整
再生/一時停止ボタン
決定ボタン 前スキップ/早戻しボタン
ディスクドア
音量調整ボタン
次スキップ/早送りボタン
電源入切ボタン
停止ボタン
調整メニューボタン
テレビタイプ選択ボタン
ディスクドア開ボタン
ドア開
機能切替ボタン DVD初期設定ボタン
▲▼◀▶方向ボタン

【本体左面】

【本体右面】

※本誌の本体内蔵スピーカーの右/左表記は、視聴時の適切な設置状況に基づいています。(画面視認時における人間の耳の配置と同じ。)
本体正面(レンズ位置面)から見た左右とは逆の表記になっておりますので、ご注意ください。

各部の名称 —リモコン部—

*マークはシフトモード時の操作です。(15ページ参照。)
シフトモードオフ時は1〜0数字ボタンです。

リモコンを外すときは
凹みに指を入れて手前に引きます。

リモコンを収納するときは
カチッと音がするまで押し込みます。

電池の交換のしかた

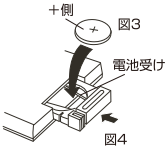
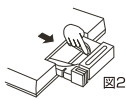
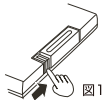
① リモコンの裏面にあるタブを矢印の方向に引きながら、電池受けを引き出します。(図1/2)

② ボタン電池CR2025を、+プラス側を上にして電池受けに入れます。(図3)

③ 電池受けを元に戻します。(図4)

図1

図2

図3
図4

ご注意

- ●必ず絶縁シートを外してからご使用ください。
- ●電池を挿入する際は、+/プラス、ー/マイナスの表記通りに入れてください。破裂、液漏れにより火災やケガの原因になる恐れがあります。
- ●指定以外の電池はご使用にならないでください。
- ●使い切った電池は、直ちに本体より取り出してください。
- ●ショートさせたり、分解、加熱、火の中への投入はしないでください。
- ●電池を飲み込まないよう、お子さまの手が届かないところに保管してください。
- ●電池の液漏れが皮膚や衣類についた場合は、直ちに水で洗い流してください。

リモコンの使いかた

リモコンを本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
操作可能範囲は最大7mです。通常は4m以内でご使用ください。

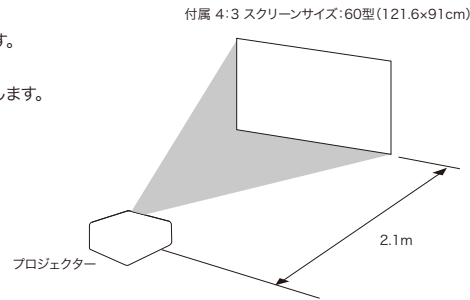
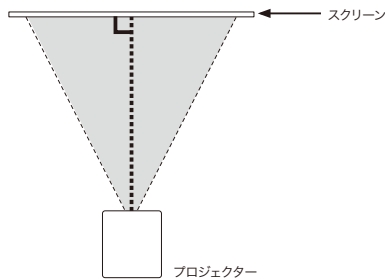
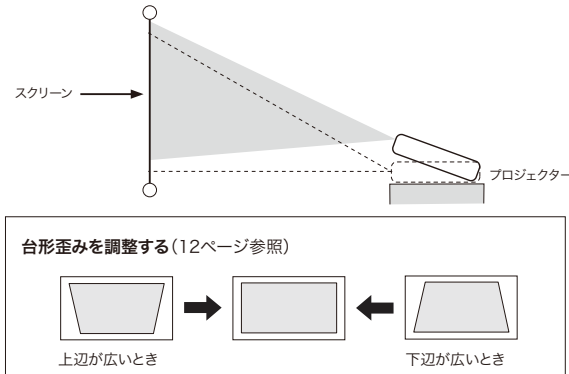
プロジェクターを設置する

プロジェクターを設置するには

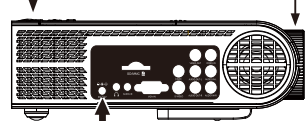
① スクリーンに映像が最適な大きさで映るよう設置します。
本機をスクリーンから離すほど投写画面は大きくなります。
本機の投影可能距離は約1～3mです。
付属のスクリーンに投写するときは、約2.1m離して設置します。

付属 4:3 スクリーンサイズ:60型(121.6×91cm)

2.1m

プロジェクター

② 本機をスクリーンに対して平行になるように設置します。

③ スクリーンに対して本機が斜めになっていると、投写画面が台形状に歪みます。その場合は、本体の「画面歪み調整」ダイヤルで調整します。
角度を付けると上部と下部の焦点が合わなくなりますのでご注意ください。

台形歪みを調整する（12ページ参照）

上辺が広いとき　下辺が広いとき

電源コードを接続する

スクリーンを設置する

スクリーンを設置するには

① 壁掛用フックを壁面に取付けます。
床と平行になるように、石こうボードやプリント合板には手で、柱や板壁にはハンマーで斜め上から軽く打ち付けます。
スクリーンの吊り金具の幅と同じになるように取付けてください。

② スクリーンをかけます。マジックテープを外し、片方の手でスクリーンを持ちます。
もう一方の手でスクリーンの吊り金具を持ち、壁掛用フックにかけます。

③ スクリーンを降ろします。下部パイプに巻き付いているスクリーンに手を添えてゆっくり下へ降ろします。

スクリーンを収納するには

下部パイプの中央部を持って一周させてから、片方の手でパイプ端の黒キャップをしっかり握り巻き上げます。
もう片方の手は、スクリーン中央部を軽く指先でつまむ程度にしてください。
マジックテープを吊り金具に通し留めます。

ご注意

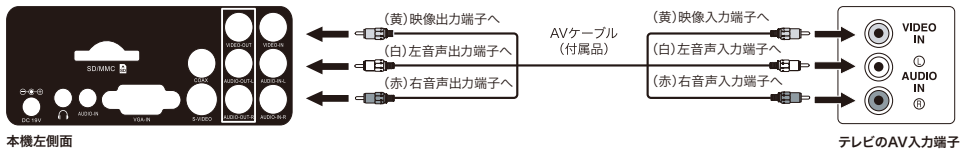
- ●手を添えずに急に離すと、スクリーンを傷つけたり壊したりすることがありますので、ご注意ください。
- ●中央部を強く握ると、スクリーン表面に傷が付く恐れがあります。
- ●使い終わったスクリーンは水平に保管してください。立てかけたまま放置すると、転倒により傷が付く恐れがあります。
- ●設置の際の落下等によるスクリーンの汚れ、破損、壁面の損傷等は、保証の対象外となります。

外部機器と接続する

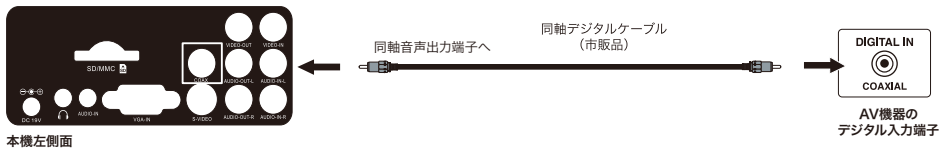
本機は標準装備のDVDプレーヤー以外に、外部出入力端子を持つ機器と接続することができます。

ご注意

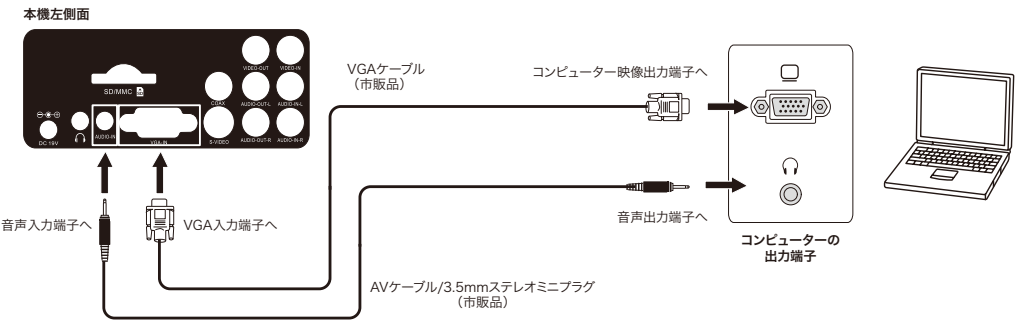
●接続する機器の電源を切ってから接続してください。電源が入った状態で接続すると、故障の原因になります。
●レンズカバーを閉じてから接続してください。レンズに指紋や皮脂が付くときれいに投写できません。
●ケーブルのプラグの向きや端子の形状が異なっているものを無理やり押し込まないでください。機器の破損や故障の原因になります。

テレビと接続する（音声・映像出力）

映像機器と接続する（S-VIDEO映像入力）

※S映像を接続する場合、(黄)映像入力を接続しないでください。

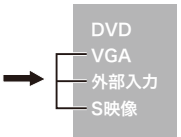
オーディオシステムと接続する（音声出力）

※初期設定のオーディオ設定にあるオーディオ出力を"SPDIF/RAW"に設定してください。

外部機器と接続する／外部機器を投写する

コンピューターと接続する（映像・音声入力）

ご注意

・「投写設定」のブルースクリーンがオフになってると、外部入力信号が認識できない場合、自動的に電源が切れます。（19ページ参照）
・[AUDIO-IN]端子は、VGAモードでのみ使用できます。

外部ビデオ機器やコンピューターの映像を投写する

① 本体と外部機器を接続します。（10/11ページ参照。）
② [切替]ボタンを押します。下図のメニューが表示されます。[▼]ボタンで接続した外部機器を選択し、[決定]ボタンを押します。
VGA: 本機の[VGA入力端子]とコンピューターなどを接続した場合。
外部入力：本機の[映像・音声入力端子]とテレビなどを接続した場合。
S映像：本機の[S映像入力端子]とテレビなどを接続した場合。

③ 外部機器の再生を始めます。映像が投写されます。

ご注意

・接続する際は、外部機器の電源を切ってください。故障の原因になります。
・レンズカバーを閉じてから接続作業を行ってください。レンズに指紋や皮脂が付くときれいに投写できません。
・「調整」メニューにある「機能」〜「ブルースクリーン」がオフになっていると、外部入力モード中、外部機器の信号が認識されないと、電源が自動的に切れます。

投写する

DVDを再生する

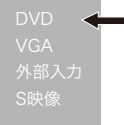
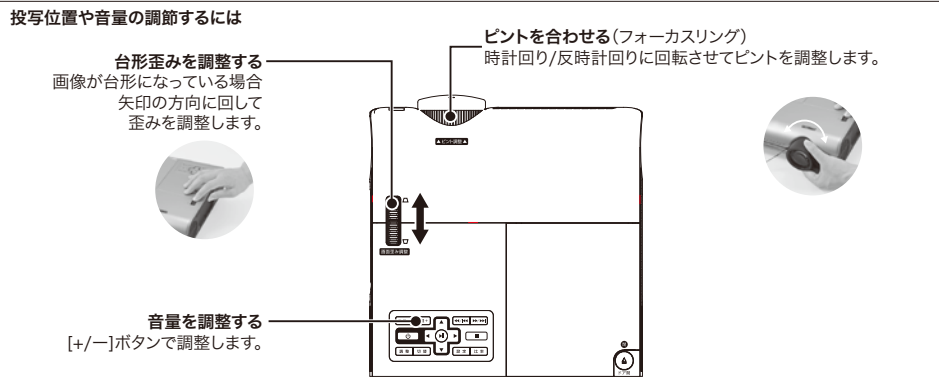
事前に電源コードを接続しておきます。(8ページ参照。)
① 本体天面の[ドア開]を押してディスクドアを開きます。
② ディスクの印刷面を上にして「パチッ」と音がするまではめてセットし、閉 マークを押してディスクドアを閉じます。
③ [電源]ボタンを押します。ボタンが赤色から青色に点灯します。
　自動的に投写ランプが点灯し、投写が始まります。投影が始まるまで5秒程度かかります。
④ 本体、もしくはリモコンの[切替]ボタンを押すと、右図1が表示されます。
　[▲/▼]ボタンで[DVD]を選択し、[決定]ボタンを押します。
⑤ リモコンの[選択]ボタンでを押すと、図2が表示されます。
　[▲/▼]ボタンで[ディスク]選択し、[決定]ボタンを押します。
⑥ 再生を開始します。

図1：[切替]ボタン

DVD
VGA
外部入力
S映像

図2：[選択]ボタン

ディスク
カード

NRT-350
選択
切替

【テレビに接続してDVDを観るとき】
投写ライトを消してお使いいただけます。
電源が入った状態で、[切替]ボタンを押しながら[音量+]ボタンを短く(1秒程度)押します。
※この機能はDVDモードのみご使用いただけます。

ご注意
・誤った操作やディスクによって禁止されている操作をした時は、テレビ画面に"入力無効"が表示されます。
・ファイナライズ処理されていないDVD-R/RWは再生できません。
・VRモードで録画されたDVD-RWは再生できません。

SD/MMCカードを再生する

① 本体左面の[SD/MMCカード]挿入口にカードを挿し込みます。
② [電源]ボタンを入れます。ボタンが赤色から青色に点灯します。
　自動的に投写ランプが点灯し、投写が始まります。投影が始まるまで5秒程度かかります。
③ 本体、もしくはリモコンの[切替]ボタンを押すと、右図1が表示されます。
　[▲/▼]ボタンで[DVD]選択し、[決定]ボタンを押します。
④ リモコンの[選択]ボタンを押すと、右図2が表示されます。
　[▲/▼]ボタンで「カード」を選択し、[決定]ボタンを押します。
⑤ 再生を開始します。

図1：[切替]ボタン

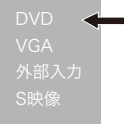



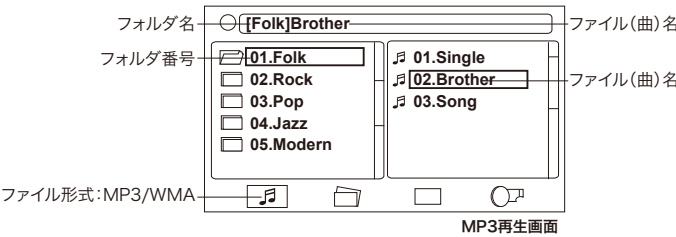
図2：[選択]ボタン

MP3/WMA・JPEG・AVIを再生する

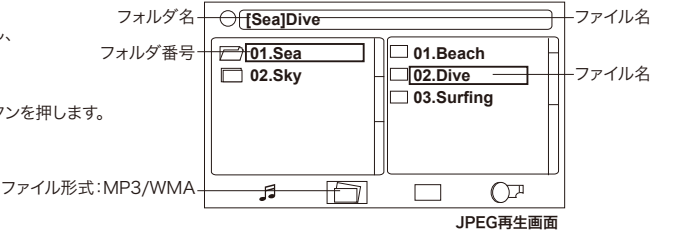
ディスクもしくはSD/MMCカードが再生できる状態にします。(12ページ参照。)

MP3/WMAを再生する

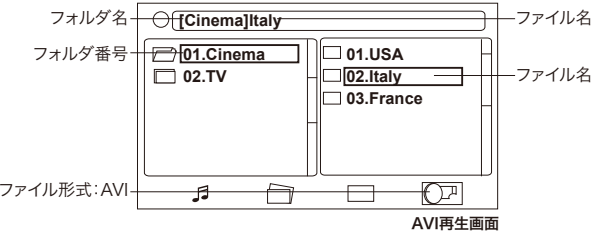
① 読み込みのあと、右図が画面表示されます。
② [▲▼◀▶]ボタンで再生したい曲を選択し、
　[決定]ボタンを押します。再生を始めます。

MP3再生画面

写真データ(JPEG)を再生する

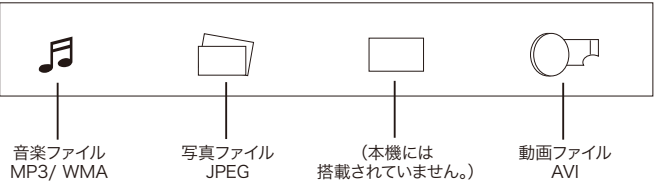
① 読み込みのあと、右図が画面表示されます。
② [▲▼◀▶]ボタンで再生したい画像を選択し、
　[決定]ボタンを押します。再生を始めます。
　スライドショー再生をしたいときは、
　右図の再生画面で画像を選択後、[再生]ボタンを押します。

JPEG再生画面

動画データ(AVI)を再生する

① 読み込みのあと自動的に再生が始まります。
② [停止]ボタンを押すと、右図が画面表示されます。
　[▲▼◀▶]ボタンで再生したい映像を選択し、
　[決定]ボタンを押します。再生を始めます。

AVI再生画面

写真／音楽／動画ファイルが混在したディスクを再生する

写真、音楽、動画ファイルが混在したディスクも再生できます。
① 読み込みのあと、メニュー画面が表示されます。音楽ファイルから自動的に順に再生が始まります。
④ 他のファイル形式に切り替えるには、リモコンの[◀]ボタンを数回押して画面下部にあるファイル形式のアイコンを選択し、
　[決定]ボタンを押します。

画面下アイコン表示

※データサイズが大きい場合、読み込みや再生に時間がかかります。

リモコンを使った再生

1. 電源入切
スタンバイモードの切替をします。

2. 再生/一時停止
停止中に押すとDVD/CDを再生します。
再生中に押すと一時停止します。
もう一度押すと、再び再生が始まります。

3. 停止
① 再生中に[停止]ボタンを1回押すとディスクが停止します。
[再生]ボタンを押すと停止したところから再生を始めます。
② [停止]ボタンを2回押すと本停止になります。[再生]ボタンを押すとディスクの最初から再生を始めます。

4. 早送り／巻戻し再生
① 再生中に押すと、早送りもしくは巻戻し再生をします。
② 押すごとに、2・4・8・20倍の早さに変わります。
③ 早送りもしくは巻戻し中に[再生]ボタンを押すと、通常の再生モードに戻ります。

5. スキップ再生
再生中もしくは一時停止中に、前後いずれかの[スキップ]ボタンを押すと、前もしくは次のトラック（またはチャプター）にスキップして再生をします。
※記録状態によってスキップできないディスクがあります。

6. 音量調整
＋（プラス）/ー（マイナス）で調整します。

7. 消音
消音します。再度押すと元の状態に戻ります。

8. 画面表示
【DVDの場合】
① [表示］ボタンを1回押すと、再生中のタイトル/ チャプター/経過時間が表示されます。
② もう一度押すと、字幕/音声/アングルを表示します。

【VCD/CDの場合】
① [表示］ボタンを一度押すと、ディスクの種類/ 曲番/総曲数/トラック経過時間を表示します。

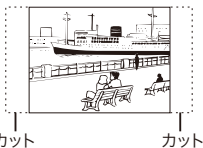
9. 入力切替
再生モードの切替をします。
「DVD」ー「VGA」ー「外部入力」ー「S映像」から、
再生したいモードを[▲/▼]ボタンで選択し、[決定]ボタンを押します。

10. 再生メディア選択
ディスク、もしくはSD/MMCカード再生を選択します。
「ディスク」ー「カード」から、再生したいメディアを[▲/▼]ボタンで選択し、[決定]ボタンを押します。

*マークのついた機能は、VCD/CDではご利用になれません。

11. 初期設定
初期設定メニューになります。（16/17ページ参照。）

12. 投写設定調整
投写設定調整メニューになります。（18/19ページ参照。）

13. アスペクト比切替
押すたびに比率が切り替わります。
○4：3PS 4:3画面(パンスキャン)
ワイド画像は映像の左右をカットして表示。

パンスキャンに対応したワイド画像(16:9)のディスクを再生したとき、ワイド画像の一部をカットして再生します。
パンスキャンに対応しないワイド画像(16:9)のディスクではレターボックスで再生します。

○4：3LB 4:3画面(レターボックス)
ワイド画像は映像横長のまま、上下は黒く表示。

ワイド画像(16:9)のディスクを再生したとき、レターボックス(上下に黒い帯のある画面)で再生します。

○16：9 16:9画面

ワイド画像(16:9)のディスクを再生したとき、フル画像で再生します。

14. 数字入力
チャプターやトラック番号の入力ができます。
例「チャプター8の場合」：[8]ボタンを押します。
「チャプター32の場合」：[3] を押してから[2]を押します。

15. シフトモード切替
[シフト]ボタンを押すと、画面に「シフト」が表示されます。
シフトモード中は右記のボタン操作ができます。
再度押すと「シフトオフ」が表示され、元の状態に戻ります。

シフトモード ※画面に「シフト」が表示されているか確認してください。

15. 音声切替*
音声を切り替えます。

16. タイトル
タイトルメニューに戻ります。
＊この機能が含まれていないディスクでは使用できません。

17. 字幕切替*
字幕を切り替えます。
＊この機能が含まれていないディスクでは使用できません。

18. アングル切替*
カメラアングルを切り替えます。
＊この機能が含まれていないディスクでは使用できません。

19. A-B繰返し再生
① チャプター/トラック再生中にボタンを押すと Aポイント（始点）を記憶します。
再び同ボタンを押すと、Bポイント（終点）をます。
③ 再度同ボタンを押して機能をオフにするまで、A-B間の再生を繰り返します。

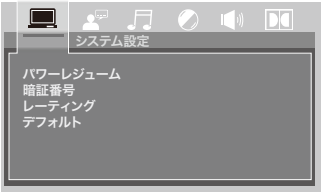
20. 繰返し再生
【DVDの場合】ボタンを押すたびに、
リピート：[オフ] → リピート：[チャプター] →
リピート：[タイトル]
に切り替わります。

【VCD/CDの場合】ボタンを押すたびに、
リピート：[オフ] → リピート：[リピート[1]] →
リピート：[リピート[ALL]]
に切り替わります。

21. ズーム再生*
①ボタンを押すごとに、映像を拡大/縮小できます。
② [▲▼◀▶]ボタンを押すと画像を移動します。

22. スロー再生
再生中に押すとスロー再生をします。
押すたびに1/2〜1/7のスピードで再生に切り変わります。

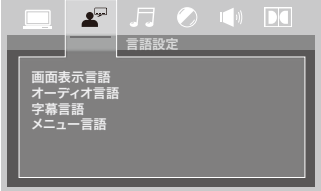
23. メニュー再生*
メニュー画面に戻ります。
＊この機能が含まれていないディスクでは使用できません。

24. 移動再生
お好みのタイトル/チャプター/トラック/再生時間へ移動して再生します。
① ボタンを押すとサーチ画面が表示されます。
② [◀/▶]ボタンで、移動再生したい「タイトル/チャプター/トラック/ 再生時間」を選びます。
③ [シフト]ボタンを押してシフトモードを解除します。
④ [数字]ボタンで移動再生したい数字を入力します。
⑤ [決定]ボタンを押すと入力した設定から再生を始めます。

初期設定

【設定方法】

ディスクが停止している状態でリモコンの[設定]ボタンを押すと、初期設定画面が表示されます。 [◀/▶]ボタンで設定したいトップメニューを選択します。[▲▼]ボタンで項目を選択し[▶]ボタンを押すと詳細のメニューが表示されます。[▲▼]ボタンで選択し[決定]ボタンを押すと確定します。 もう一度[設定]ボタンを押すと元の状態に戻ります。

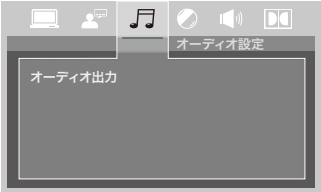
システム設定

パワーレジューム
停止した状態を記憶します。
オン:電源を切ったあと再度再生するときに、前回停止した箇所から再生を始めます。
オフ:最初から再生します。

暗証番号
パスワードを登録／解除するには、[数字ボタン]で４桁の数字を入力後、[決定]ボタンを押してください。
工場出荷時の設定は“0000”になっています。

ロック状態　ロック解除状態

レーティング
DVDに設定された視聴レベルを管理し、本機器で制限をかけます。
レベル 1 : Kid Safe
レベル 2 : G
レベル 3 : PG
レベル 4 : PG_13
レベル 5 : PG_R
レベル 6 : R
レベル 7 : NC_17
レベル 8 : Adult

デフォルト
復元:工場出荷時の設定に戻ります。

言語設定

どの言語で表示/再生するか選択します。工場出荷時は「日本語」に設定されています。

画面表示言語
英語
日本語

オーディオ言語
中国語
英語
日本語
フランス語
スペイン語
ポルトガル語
ラテン語
ドイツ語

字幕言語
中国語
英語
日本語
フランス語
スペイン語
ポルトガル語
ドイツ語
オフ

メニュー言語
中国語
英語
日本語
フランス語
スペイン語
ポルトガル語
ドイツ語
ラテン語

オーディオ設定

オーディオ出力
アナログ:アナログ接続の場合。(赤/白端子接続)
SPDIF/RAW:デジタル(COAX)出力。
SPDIF/PCM:PCM信号出力。

映像設定

ブライトネス
明るさをを調整します。数字が大きくなると明るくなります。
12、 10、 8、 6、 4、 2、 0

コントラスト
輝度を調整します。数字が大きくなると輝度が高くなります。
12、 10、 8、 6、 4、 2、 0

色合い
色合いを調整します。お好みの色合になる数字に合わせます。
+6、 +4、 +2、 0、 -2、 -4、 -6

色の濃さ
色の濃さを調整します。数字が大きくなると色が濃くなります。
12、 10、 8、 6、 4、 2、 0

シャープネス
シャープ感を調整します。数字が大きくなるとくっきりします。
8、 6、 4、 2、 0

スピーカー設定

ダウンミックス
LT/ RT:左右独立した音声出力。(例:右/日本語、左/英語)
ステレオ:ステレオ音声出力。(通常)
VSS:5.1チャンネル音声を、L/Rスピーカーからバーチャルサラウンドで聴く場合。
5.1CH:5.1チャンネルスピーカーに接続する場合。

サブウーファー
サブウーファー音声出力のオン/オフを切替します。
オン/オフ

センタディレイ
センタースピーカーの遅延音響効果を調整します。
スピーカーの位置に合わせて調整します。
0MS～5MS(1/1000秒)

リアディレイ
リアスピーカーの遅延音響効果を調整します。
スピーカーの位置に合わせて調整します。
0MS～15MS(1/1000秒)

フロント
フロントスピーカー音声の大小を切替します。
大/小

デジタル設定

出力モード
デジタル音声出力の調整をします。
ライン出力:低音の調整をします。夜お使いになるときに。
RF調整:高音の調整をします。日中お使いになるときに。

ダイナミックレンジ
ダイナミックレンジの調整をします。
音割れ、歪みがおきた時に調整します。
OFF, 2/8, 4/8, 6/8, FULL

ステレオモード
ステレオ:ステレオ音声。
左側モノ音:左チャンネルのみ出力。
右側モノ音:右チャンネルのみ出力。
混合モノ音:左右混合出力。

投写設定の調整

【設定方法】

リモコンの[調整]ボタンを押すと、調整メニュー画面が表示されます。 [▼/▲]ボタンで設定メニューを選択し、[決定]ボタンを押します。
[▼/▲]ボタンで各項目を選択し、[▲▼◀▶]ボタンで調整し、[決定]ボタンを押します。
他の設定メニューに移動したいときは[調整]ボタンを押します。
※外部出力で調整メニュー画面は表示されません。

色調　※はじめに、[切替]ボタンで「DVD」に設定します。

色調の調整をします。
ブライトネス:0〜100　数字が大きくなると明るくなります。

コントラスト:0〜100　数字が大きくなると輝度が高くなります。

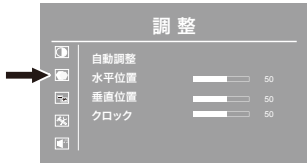
彩度:0〜100　数字が大ききなると彩度が高くなります。

調整　※はじめに、[切替]ボタンで「VGA」に設定します。

VGA入力時の調整をします。
自動調整:自動で適した状態に調整します。

水平位置:入力画像の水平位置を設定します。

垂直位置:入力画像の垂直位置を設定します。

クロック:位相を調整します。

共通　※はじめに、[切替]ボタンで「DVD」に設定します。

調整メニュー画面の設定をします。
言語:表示言語を設定します。
English/ 日本語

水平位置:水平位置を設定します。
0〜100

垂直位置:垂直位置を設定します。
0〜100

表示時間(秒):調整メニュー画面の表示時間(秒)を設定します。
オフ、5、10、15、20、25、30、35、40、45、50、55、60秒

画面透過:調整メニュー画面の透過度を設定します。
オフ、1、2、3、4、5、6、7

機能

リセット:設定内容を初期化します。
OK/ Cancel(キャンセル)

スリープ:設定した時間(分)が経過すると電源が切れます。残り時間が投影されます。
オフ、15、30、45、60、75、90、105、120MIN

ブルースクリーン
外部入力モード(VGA/外部入力/S映像)で入力信号が認識されないときの画面表示を設定します。
オン:画面が青くなります。
オフ:「信号なし」が表示されたあと電源が切れます。

天地反転:天地が反転して調整メニューが表示されます。
オン/オフ

シャープネス:シャープ感を調整します。数字が大きくなるとくっきりします。
0〜100

機 能
リセット OK
スリープ オフ
ブルースクリーン オン
天地反転 オフ
シャープネス 50

音声

音量:音量の調整をします。数字が大きくなると音量が大きくなります。
0〜100

左右調整:左音と右音の調整をします。
0:左スピーカー出力が大きくなります。
100:右スピーカー出力が大きくなります。

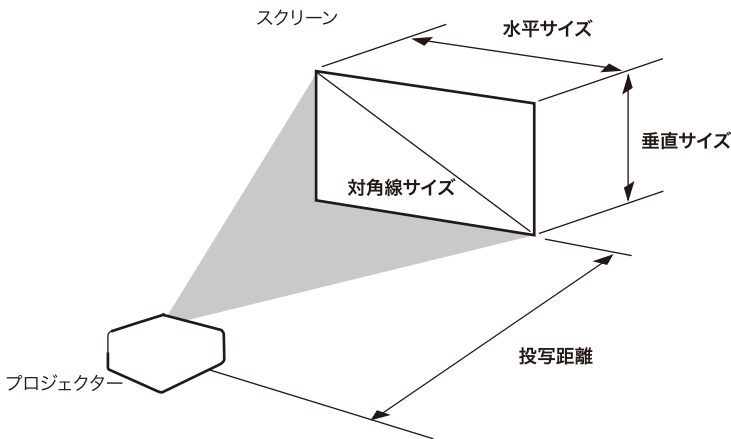
低音調整:低音の調整をします。数字が大きくなると低音が強調されます。
0〜100

高音調整:高音の調整をします。数字が大きくなると高音が強調されます。
0〜100

投影距離とスクリーンサイズ

プロジェクターとスクリーン間の距離によって画像のサイズが決まります。
下記を参考に、スクリーンに映像が最適な大きさで映るように設置してください。

4:3(縦横比)
※数字は約です。

スクリーンサイズ(インチ)	対角線サイズ(mm)	水平サイズ(mm)	垂直サイズ(mm)	投写距離(mm)
20	508	406	305	750
30	762	610	457	1200
40	1016	813	610	1450
50	1270	1016	762	1850
60	1524	1216	910	2300
70	1778	1422	1067	2650

お手入れのしかた

ご注意

・お手入れの際には、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

プロジェクター

●本体
本体は、乾いた布で拭いてください。汚れがひどいときは、中性洗剤の水溶液に浸した布を固く絞ってふいてください。
ベンジン、アルコール、シンナーなどの化学薬品は使わないでください。変色や変質の恐れがあります。

●投写レンズ
市販のメガネ拭きなどで軽く拭き取ってください。
レンズの表面は傷つきやすいので、硬い物でこすったり、たたいたりしないでください。

●吸気口
掃除機でホコリを吸い取ります。
吸気口にホコリがたまると、本機内部の温度が上昇して故障や光学部品の早期劣化の原因となります。
約3ヶ月に1度は、 吸気口の掃除を行うことをお勧めします。ホコリの多い環境でお使いになるときは、より短い周期で掃除を行ってください。

スクリーン
上下パイプの汚れは柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた洗剤にひたした布を絞って拭き取り乾いた布で仕上げてください。
スクリーン面のホコリをとるときは、柔らかいブラシで軽く払ってください。
水を湿らせた布や、ベンジン、シンナー等でスクリーン面を拭かないでください。スクリーンの表面が変質したり、塗料がはがれたりします。

●置き場所保管について
直射日光の当たる場所、ホコリや湿気の多い場所、熱器具のそばなど、直接熱が当たる場所は変形、故障や事故の原因となります。
高温の車中への放置も避けてください。

主な仕様

電源:	AC100V 50/60HZ、DC19V 4.75 A
消費電力:	90W
待機電力:	1W
明るさ:	250ルーメン
表示解像度:	640×480　VGA
コントラスト比:	400:1
光源:	50WLEDランプ
焦点調節:	マニュアル
投影レンズ:	F=150mm F/2.8
投影可能距離(約):	1〜3m
推奨投影サイズ:	20〜70インチ
実用最大出力:	3W+3W
スピーカーインピーダンス:	4Ω + 4Ω
出力端子:	オーディオ出力RCA端子(L/R) コンポジットビデオ出力端子 同軸音声出力端子 ヘッドホン端子(3.5mmミニジャック)
入力端子:	オーディオ入力RCA端子(L/R/ステレオ) コンポジットビデオ入力端子 S映像入力端子 VGA入力端子 音声入力端子(3.5mmミニジャック) SD/MMCカードスロット DC入力端子
最大外形寸法／質量(約):	プロジェクター;幅268 × 奥295 × 高92mm／2.5kg(リモコン含む) スクリーン; (壁に掛けた状態/ 吊り金具含まず) 幅1335 × 奥25 × 高975mm (畳んだ状態) 幅1335 × 奥40 × 高70mm／1.3kg
動作保証温度:	10〜40度
保証傾斜角度:	10〜30度
付属品:	リモートコントローラー、ACアダプタ、電源コード、AVケーブル、スクリーン、 スクリーン壁掛用フック×2、取扱説明書(本誌)

故障かな？と思ったら

お客様ご相談センターにご相談になる前に、もう一度下記の内容をご確認ください。
ご不明な点があるときは、保証書にある総発売元へお問い合わせください。

症　状	対処方法
電源が入らない	・電源プラグをコンセントに挿してください。 ・電源ボタンを押して投写がはじまるまで5秒程度かかります。
音が聞こえない	・音量調節をしてください。 ・消音になっていないか確認してください。
音がひずむ	・音量を小さくしてください。 ・本機をテレビや蛍光灯等の電気製品から離してください。
映像が表示されない	・レンズカバーを外してください。
ぼやける、ピントが合わい	・[ピント調整]ダイヤルで、ピントを調整してください。(12ページ) ・最適な投写距離に合わせてください。(20ページ) ・結露していないか確認してください。(4ページ)
ディスクの再生が始まらない	・印刷面を上にしてディスクをセットしてください。 ・[切替]ボタンを押して“DVD”を選択し[決定]ボタンを押してください。
“ノーディスク”が表示される	・カチッと音がするように、正しくディスクトレイにディスクをセットしてください。（ディスクを軽く手で回転させ、水平に回転するか確認してください。） ・ディスクドアがしっかりと閉まっているか確認してください。 ・DVDレンズをブロワー(ゴミの吹き飛ばし用ブラシ)で清掃してください。 ・DVDレンズに露(水滴)がついている場合は、ディスクを取り出し、ディスクドアを開けて１時間ほどそのままにしておいてください。 ・ディスクを清掃してください。 ・ファイナライズ処理(録画したレコーダー以外のプレーヤーで再生できるようにする処理)をされていないDVD-R/RWは再生できません。 ・DVD-R/RWは、ディスクや記録したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。 ・著作権保護技術付音楽ディスクは、再生できない場合があります。 ・VRモードで録画されたディスクは再生できません。
ディスクの映像や音が出ない	・[切替]ボタンを押して“DVD”が選択されているか確認してください。
ディスクの映像や音が飛ぶ **正常な動作や表示ができない**	・安定した場所に置いてください。 ・ディスクを清掃してください。
音声/字幕言語の切替ができない	・ディスクに複数の言語が収録されていないと切替はできません。 ・ディスクによってはDVDのメニューでのみ切り替えるタイプがあります。
字幕がでない	・ディスクに字幕が入っていないと表示されません。 ・字幕言語が“オフ”になっていないか確認してください。(15ページ)
リモコンが操作できない	・絶縁体を外してください。 ・新しい電池に交換してください。 ・シフトモード中、数字ボタンは使用できません。[シフト]ボタンを押して“シフトモードオフ”にしてください。(15ページ) ・ディスクによって特定の操作が禁止されていることがあります。

●外部機器と接続している場合

症　状	対処方法
電源が切れる	・[調整]メニューにある「機能」～「ブルースクリーン」がオフになっていると、外部入力モード中、外部機器の信号が認識されないと電源が自動的に切れます。(19ページ) 他の再生モードに切り替える場合は、再度電源を入れたあとすぐに[切替]ボタンを押して再生モードを切り替えます。
「信号なし」と表示される	・接続機器の電源が入っているか確認してください。 ・ケーブル類が正しく接続されているか確認してください。 ・[切替]ボタンを押して、適正な再生モードが選択されているか確認してください。
ノイズがはいる	・接続ケーブルを延長しているとノイズが入ることがあります。増幅機器などを接続して確認してください。 ・コンピューター映像信号の解像度が本機で再生できるモードか確認してください。 コンピューターから出力されている映像信号の解像度の変更は、コンピューターの取扱説明書などでご確認ください。
画像が切れる	・[比率]ボタンを押して、入力信号に合ったアスペクトを選択します。
コンピューターで再生している動画が黒くなる	・コンピューター映像信号を外部のみの出力に切り替えます。切替方法は、コンピューターの取扱説明書などでご確認ください。

保証書とアフターサービス

保証書は必ず「お買い上げ日・お買い上げ店名」などの記入をご確認の上、販売店からお受け取りください。
以下の内容をよくお読みいただいた後、大切に保管してください。

保 証 書

本商品が故障した場合は、下記に明示した期間、及び条件の下において無料修理あるいは交換をいたします。

商品名	DVD一体型LEDプロジェクター ホームシアターセット　商品型番：NRT-350S
保証期間	お買い上げ日から１年間　（ お買い上げ日　　年　　月　　日 ）
お買い上げ店	
お客様お名前	
ご住所	
お電話番号	
故障の症状	

[無料保証規定]
- 正常な状態（取扱説明書に従った状態）で故障した場合には、本体商品を無料で修理又は交換させていただきます。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間となります。
- 故障の場合は本保証書に状況をご記入いただき、商品と一緒にお送りください。
- 使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障、損傷は保証の対象外となります。
- お買い上げ後の輸送、落下などによる故障、損傷は保証の対象外となります。
- 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、指定以外の電源（電圧、電流、周波数）による故障および損傷は保証の対象外となります。
- 保証書にお買い上げの年月日、お買い上げの販売店名の記入がない場合は保証の対象外となります。
- この保証書は日本国内においてのみ有効です。
- この保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

※本保証書は保証規定により、無償修理をお約束するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※お客様の個人情報は、商品に関するご質問や故障の際、お客様と連絡を取るためにのみ使用するものです。
※商品の仕様および外観は、製品の性能改善等のため予告なく変更する場合がございますので、ご了承ください。
※本保証書はお客様のご購入の証明になりますので、販売店・日付が入った書類等、購入履歴が分かる控えと一緒に大切に保管してください。
※本製品は一般家庭用に設計されておりますので、業務用でご使用された際の不具合に関しては、保証の対象外となります。

輸入・総発売元：
株式会社 クマザキエイム
〒222-0013　横浜市港北区錦が丘12-17
TEL：045-401-7486
FAX：045-435-0057
E-mail：info@kumazaki-aim.co.jp
URL：http://www.kumazaki-aim.co.jp

200912NT